

教育委員会だより - 学(まなぶ) -

(12月号)

知立市小学校音楽会

教育委員 寺田 節子

11月1日(金)に知立市文化会館(パティオ池鯉鮒)のかきつばたホールにおいて、知立市小学校音楽会が盛大に行われました。市内の各小学校の代表学年が一堂に会し、心をつにして指揮者の先生、伴奏者の先生方と笑顔で合唱をしました。ここにくるまでに、各校において時間をかけて、一生懸命歌い込んできた姿勢がよく表れていました。曲の強弱・曲想のイメージを身体全体で感じながら一心に歌う姿は、とても心を打つものがありました。

今回の各校の代表は、3年生・4年生でしたので長いコロナ禍での小学校入学や、いろいろな行動制限を強いられた日々を過ごして来た児童達なので、大きなホールで友達と一緒にマスクを外して歌声を合わせる事の喜びや、多くの保護者の方々を前にしての合唱は、とても貴重な体験だったのではないのでしょうか?その児童の中には、毎週パティオちりゅう少年少女合唱団員として、練習している4年生の子達も3人舞台に立っていました。

合唱団の練習でも一生懸命に歌い、そして他の団員との休憩時間には無邪気に戯れている子達がとても真剣な眼差しで歌う姿は、とても微笑ましく映りました。

以前読んだコラムの一文に『何事も幼い頃に関心を持ち、勉強、練習する事で、学術、スポーツ、芸術の能力が飛躍的に大きく伸び、好きな事に挑戦する姿勢こそが、可能性を広げる事に繋がります』とありました。これからも、合唱だけではなくいろいろな事に興味を持ち、経験をし、挑戦する姿勢を持続してほしいものだと感じました。

